

令和4年 11月 1日

協力活動報告書（令和4年10月分）

清水町長 様

清水町地域おこし協力隊員

氏名 伊藤 隼

今月の活動報告	<p>今月は、十勝清水水産振興機構が主催の講演会があり、食に関するマーケティング、ブランディングについてのお話を聞くことが出来ました。講演会の内容すべてを還元することは難しいかもしれませんが、いくつかヒントになり取り入れることが出来る内容であると感じました。</p> <p>講師の方が、地元の特産品や素材を打ち出すときは「加工しすぎない」や「ストーリー性を持たせる」ということが大事であると言っていましたが、すでに清水町の事業者やふるさと納税返礼品でも心がけており、重要性を再確認することが出来ました。</p> <p>今回の講演会で重要だと感じたものを以下にまとめてみました。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 商品のクオリティ</li><li>2. 商品や企業のストーリー性</li><li>3. 商品のデザイン性</li><li>4. 商品開発、制作、イベントの顧客巻き込み型</li><li>5. 汎用性の高い商品</li><li>6. セオリーを疑う思考</li><li>7. 人脈</li></ol> <p>まだまだ細かい部分はたくさんありましたが、大まかにこのようなことが商品の需要を増やし、商品にブランド価値をもたらすのだと感じました。</p> <p>今回の講演会をふるさと納税や清水町の企業に還元していけるよう努めたいと思います。</p>
要望、意見等	
備考	